

本会議での議案の討論

●議案第17号

令和8年度湖南省一般会計予算

寺元 正幸議員

反対

本年度一般会計予算263億円、市債残高市民一人当たり40万1303円と示されています。大きな起債事業が計画されています。125億の東庁舎建て替えは将来世代に負担が残ります。よって本案に反対します。

森 すなお議員

賛成

歳入において財源確保の努力が見受けられ、歳出は抑制しつつも、市民のために必要な事業の取り組みや、重点事業の庁舎新築や図書館基本計画などへの取り組みなど、市民の皆様にとって非常に重要な予算です。

澤田 厚議員

賛成

本予算は、市民生活を支える行政サービスを着実に実施するために必要な予算であり、本市の財政状況の範囲内で適切に編成されたもので、一部事業のみを理由に、全体予算を否決することは議会として慎重であるべきと考えます。

坂田 政富議員

反対

125億円庁舎建て替えへ「庁舎整備事業」の予算約1億3800万円の予算化。市財政に影響、借金返しに追われ暮らし応援や、コミュニティバス、補聴器補助等への予算配分実現が遠のく。

小林 義典議員

賛成

反対者の主な主張は、東庁舎周辺整備事業（実施設計費約1億3,800万円）が基金取り崩しと市債増（約216億円超）を招き、東庁舎改修（50億円以内）で代替可能との点です。これは短期的な財政負担のみを強調し、長期的な行政基盤強化を見落としています。

●議案第18号

令和8年度湖南省国民健康保険特別会計予算

田中 雄二郎議員

賛成

物価高騰が続く中での負担増は被保険者にとって決して小さな問題ではありませんが、収納対策や医療費適正化による歳出抑制策、その他健康づくりの取り組み等も盛り込まれているため適切な予算であると考えます。

●議案第27号

第五次湖南省行政改革大綱の策定について

坂田 政富議員

反対

公共施設等総合管理計画で、石部診療所の病床廃止、サッカー場・野球場を民間に売却等進めてきた。小規模多機能自治は行政の仕事を地域に丸投げで、市民の願う改革でない。

上野 顕介議員

賛成

この大綱は法律上の策定義務はないが、ほとんどの市町で策定されているのは、この大綱に基づく計画等が市の運営上必要とする事業の国県補助金等に必要であるからであり、本議案の策定に賛成する。

●議案第30号

湖南省国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について

寺元 正幸議員

反対

国保税の改正は、2018年度から、国が「国保の都道府県化を」したことです。令和9年度県は統一化に向け標準保険税を示しています。また医療給付とは別の「子ども・子育て支援金」が上乗せされます。本案に反対します。

上野 顕介議員

賛成

令和9年に滋賀県が健康保険料の県下統一を実施するにあたり、各市とも段階的に保険料を改定しているが、本市は一気に引き上げずに特定目的基金を取り崩して計画的に市民生活を支えてきた経緯をふまえて賛成する。

坂田 政富議員

反対

国保税を県下統一化による税の引き上げは、ガソリン、諸物価が高騰し、暮らしが大変です。滞納する方が増えます。「高い国保税を引き下げて」の声に応えるべきです。

田中 雄二郎議員

賛成

県と市で安定的な運営を図る上で被保険者の負担の公平性は重要であり、保険料水準の統一は湖南省にとってメリットです。持続可能な医療保険制度を守るための改正であり理解の得られる内容であると判断いたします。